

定期的な 歯科検診は 全身の健康にも 大事です

つしま歯科クリニック

対馬 哲郎 院長



【略歴】

昭和61年、北海道大学歯学部卒業。同大学口腔外科、札幌通信病院（現NTT札幌病院口腔外科）、西堀病院勤務を経て、平成16年つしま歯科クリニック開院。日本口腔外科学会、日本顎関節学会に所属。

歯科を受診する理由のほとんどは「歯が痛くなったから」「歯茎が腫れたから」というようなことですが、定期的な検診を受けることは早期発見につながり、症状が悪化する前に治療や予防ができる有効な手段です。では定期検診は何をするのでしょうか？一般的には虫歯があるかどうか、歯茎や口の粘膜の状態、詰め物の状態や歯並び、かみ合わせ、入れ歯の状態などをチェックしていきます。レントゲン写真では、見えない虫歯、歯根の部分や骨、歯周病、顎の状態など肉眼でわからない箇所を確認をします。

なぜ検診が大事なのかという

と、早めに見つけた虫歯は最小限に削るだけで済みますが、痛くなってからだと削る範囲が大きくなったり、神経まで取る羽目になったりすると回数もかかり、神経の有る歯よりも弱くなってしまいます。また歯周病は心筋梗塞や狭心症、糖尿病、骨粗しょう症、肥満などにも影響しますので、これらのリスクを減らすうえでも予防とメンテナンスは大切です。そのほかスクレーピング（歯垢や歯石の除去）やブラッシング指導をし、必要に応じて専用の器具によるPMTCという歯のクリーニングやフッ素塗布も行います。

ここで日本とアメリカ、スウェー

デンの定期検診受診率と、80歳で残っている歯数についてお話しさせていたと、定期検診率が2%しかない日本は残存歯数が約9本ですが、受診率が80%のアメリカは17本、90%のスウェーデンは25本と大きな差があります。また、ある雑誌に掲載された「リタイア前にやるべき事だった後悔ランキング」の第1位は「歯科検診を受ければ良かった」でした。定期的な歯科検診の間隔は一般的に3〜6カ月、子どもは3〜4カ月、歯周病ケアが必要な場合は1〜3カ月に1度が目安です。口腔内を健全な状態に保つことは「元気で長寿」の秘訣ですね。



つしま歯科クリニック

函館市時任町3-3 ☎0138-55-4618

診療科目／歯科・歯科口腔外科・小児歯科

診療時間／月・火・木・金 9:30~12:30、14:00~20:00

水・土 9:30~12:30、14:00~16:00

休診日／日曜・祝日